

中学生の「税についての作文」優秀作品
『十日町納税貯蓄組合連合会 優秀賞』

税金がつなぐ未来

十日町市立 十日町中学校 2年
池 田 蒼

私たちが生きていくうえで必ず払わなければならないものが税金です。みなさんは税についてどのくらい具体的に知っていますか。

私たちが納めた税金は国や地方公共団体が行う活動の財源となっています。国会で話し合いを行った後にその税金で公共施設を建設したり、公共サービスを行っています。税金がなくなると救急車やごみ収集が有料になったり、医療費がすべて自己負担になるなど当たり前のように無料だったサービスにお金がかかり、困ることが増えます。

身近な税の一つ目は消費税です。私たちは何か物を買うときに必ず 10%の消費税を払っています。日本では 1989 年に導入され、当初は 3%でしたが、現在は 10%となっています。なぜ消費税が増税されたのでしょうか。それは、社会保障費が足りなくなったからです。社会保障費とは、年金や医療などの社会保障を維持するための費用です。少子高齢化が進んだ影響で、社会保障費はここ 30 年でおおよそ 3 倍にふくれ上がりました。社会保障の財源は基本保険料でまかなうものですが、保険料だと働く世代に負担が集中してしまいます。そこで特定の人に負担が集中しない消費税が増税されたのです。しかし、増税することにはデメリットもあります。増税することで企業や個人の負担が重くなり、景気悪化につながる恐れがあるのです。

二つ目は給料にかかる所得税と住民税です。これらの税金と社会保険料を差し引いた金額が従業員の手取り額となります。大体の手取り額は総支給額の 75%~85%と言われています。

今回税金について調べて、税金の大切さと同時に増税することのデメリットも知ることができました。今は中学生なので払っている税金は消費税くらいしかありませんが、これから年を重ねるごとに所得税や住民税など払うべき税が増えていきます。さらに、今の日本は少子高齢化が深刻になってきています。少子化によって労働者が減るので今のままでは税金が足りず、何年後かには増税することになります。そして高齢化によって社会保障費が足りなくなるので働く世代の負担が大きくなります。私たちが大人になった時にどれくらい増税されているのが不安になりました。

何も分からず当たり前のようには払っていた税金だったけど、この作文を書くに当たり税のことを知る一步を踏み出しました。今は税金の初歩的な部分しか知らないのですが、これから日本に搾取されていくのかなという感想を持ちましたが、これから税金の使い道など深く知って税を納める意味を理解しながら税を納められるようになりたいです。